

【個人賞】

○ 京都市長賞

Aコース「進路確保（しんろかくほ）」 望月 秀明 さん（東京都中野区）



(応募者コメント)
 視覚に障害のある方の進路で、歩きスマホをしてぶつかってしまうようなことがあってはなりません。

○ 京都市教育長賞

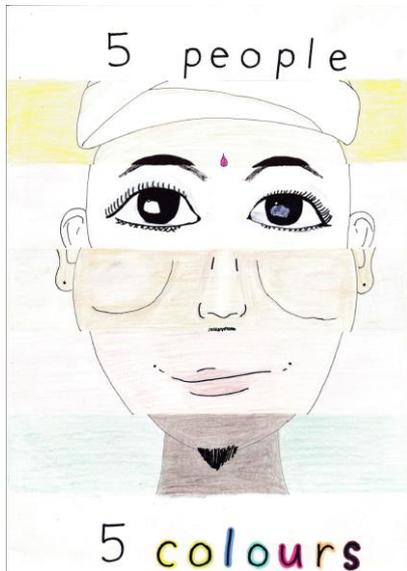
Bコース 阿美谷 真生 さん（千葉県船橋市）



(応募者コメント)
 私が京都市の人権啓発標語「同じです あなたとわたしの 大切さ」から真っ先に思い浮かんだことが今の自分でした。私には憧れている友達がいる、どうしてもその子に比べて自分が劣っているように思えて仕方なかったのですが、この標語を読んだとき、前向きな気持ちになれました。自分は自分なんだと、自信を持つことができました。

○ 優秀賞

Aコース「十人十色（じゅうにんという）」 ^{はぎやま} 萩山 ^{なつき} 菜月 さん（京都市右京区）



（応募者コメント）

絵で描いたのは、5人の人です。顔の色も住んでいる国も違う。それでも、皆、同じ人であり、違うのは個性である。それを表した。この絵のように、皆が理解してほしい。

○ 優秀賞

Aコース「過激報道（かげきほうどう）」 ^{かとう} 加藤 ^{かつら} 桂（愛知県春日井市）

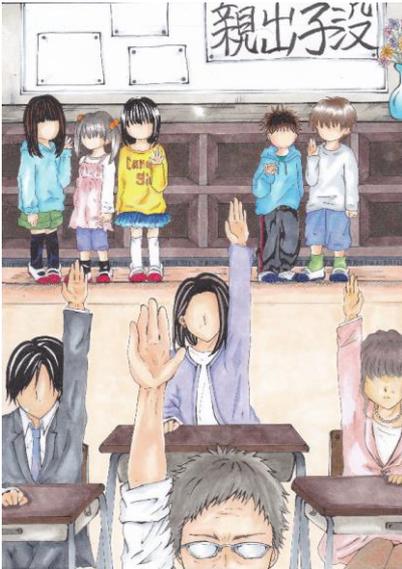


（応募者コメント）

最近、過激な報道番組で人権軽視したようなものもある。カメラやマイクが竹槍^{やり}に見える。

○ 優秀賞

Aコース「親出子没（しんしゅつこぼつ）」 おおさき るみ 大崎 瑠美 さん（長崎県西彼杵郡時津町）



（応募者コメント）
親が前に出すぎると、子どもが自分を出しづら
なくなってしまうこと。

○ 佳作

Aコース「四面楚歌（しめんそか）」

なかにし しんじ 中西 伸治 さん（滋賀県野洲市）



（応募者コメント）
街を歩くと、周りのことなど気にせ
ず、スマホゲームに夢中な人たちがい
っぱい。老人、身体不自由な人たちに
少しの思いやる心を待ちたいもので
す。

○ 佳作

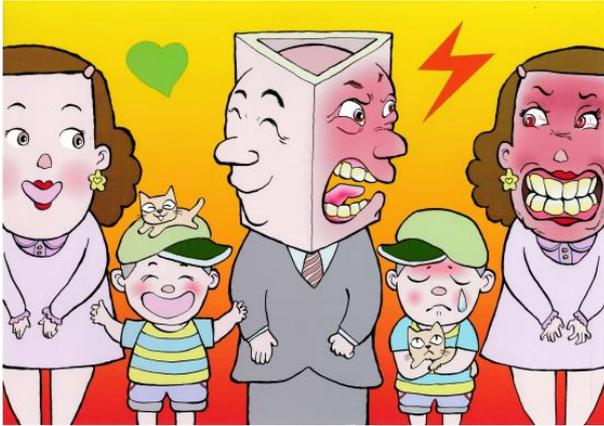
Aコース「一致団結（いちだんけつ）」 こざき まこと 小崎 誠 さん（京都府八幡市）



（応募者コメント）
以前、駅の階段で、見ず知らずの四人が、車い
すの人を担いで降りているのを見たときは感動
しました。
一人（一匹）犬なのは、愛きょうです。

○ 佳作

Aコース「子鏡自戒（しきょうじかい）」 いわもと 岩本 しんじ さん（福岡県大牟田市）



(応募者コメント)
子どもは大人の鏡です。あなたが、今、どんな自分なのか、子どもを見て戒めましょう。

○ 佳作

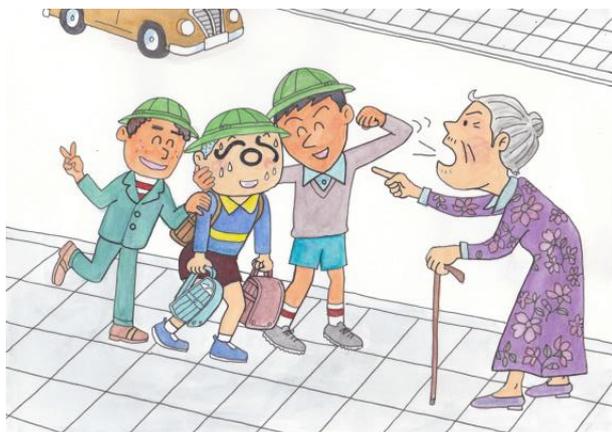
Aコース「主権在眠（しゅけんざいみん）」 こうち たつき 河内 樹 さん（千葉県四街道市）



(応募者コメント)
「主権在民」の「民」を「眠」としたマンガです。

○ 佳作

Aコース「苦口婆心（くこうばしん）」 せき 関 としお さん（東京都板橋区）



(応募者コメント)
仲良しに見えても僅かにSOSを出している顔や身体の反応を見逃がさず、老婆心ながら口を苦くして教え諭す大切さ。

○ 奨励賞

Aコース「車内迷惑（しゃないめいわく）」 おの はるか さん（京都市山科区）



（応募者コメント）

車内での化粧，ヘッドフォンからの音漏れ，二人分の席に一人で座る，脚を組んで座るなど，マナーが悪い人を戒めるために描きました。

○ 奨励賞

Bコース いのうえ ともよ さん（京都市左京区） （京都市左京区）



（応募者コメント）

「どこの国の人も，助け合い，協力することが大事だよ」ということ。

○ 奨励賞

Aコース「安寧秩序（あんねいちつじょ）」 みやもと こうすけ さん（京都市右京区）



（応募者コメント）

今年で戦後71年。改めて戦争を振り返り，平和とはどのようなものかを考え直すきっかけになり，世界の人々が一つになることができれば…という願いをこめて表現しました。

【団体賞】

- 京都市立西院中学校（右京区）
- 京都市立養正小学校（左京区）
- 京都市立第三錦林小学校（左京区）
- 京都市立池田小学校（伏見区）